

雪害に備える 事前の備え・発生時の対応



大雪や暴風雪など雪に関する警報や注意報が発表された時は、気象状況に注意し無理な外出は控えましょう。また、室内でも停電や一酸化炭素中毒の危険がありますので、十分な注意が必要です。

○ 家の中にいる時

- ▶ FF式暖房機などの給排気口が雪でふさがれると一酸化炭素中毒を起こす危険性がありますので、定期的に点検・除雪しましょう。
- ▶ 出入り口を確保するため、積雪の状況を見て除雪しましょう。
- ▶ 停電に備えて、懐中電灯、携帯ラジオ、ポータブルストーブや灯油などを準備しておきましょう。



○ 外出中の時

- ▶ 視界不良（ホワイトアウト）により、自分の位置が分からなくなることがあるため、近くの商店・コンビニエンスストアなどの建物へ避難しましょう。



○ 除雪中の転落事故防止

- ▶ 屋根の雪下ろしは2人以上で、携帯電話やスマートフォンを携帯し、事故対策をしっかりと！
- ▶ 必ず命綱を使用し、はしごの固定を忘れずにしましょう。
- ▶ 気温が高い日は雪が解けて滑りやすいので注意しましょう。
- ▶ 除雪機の雪詰まりを直すときは必ずエンジンを切りましょう。



○ 車を運転している時

- ▶ 視界不良（ホワイトアウト）になった場合は無理な運転は避け、コンビニエンスストアなどで天気の回復を待ちましょう。
- ▶ 気象情報や道路情報を確認しましょう。

無理をせず天気の回復を待つ

道路情報をチェック

北の道ナビ
吹雪の視界情報

国土交通省
道路情報提供システム

○ 車が立ち往生した時

- ▶ ハザードランプを点滅させたり、停止表示板を置くなどして、後続車に注意を促しましょう。
- ▶ JAFなどのロードサービス、警察・消防、近くの商店や人家に救助を求めましょう。

道路の異常を発見したら
道路緊急ダイヤル

#9910
(短縮ダイヤル)

車の故障・レッカー移動は
JAFロードサービス

0570-00-8139
または **#8139**

🚗 一酸化炭素中毒に注意!

車内での一酸化炭素中毒の危険をなくすには、エンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。
暖房などでやむを得ずエンジンをかけるときは、マフラーが雪に覆われないよう、こまめに周辺を除雪してください。特に「吹きだまり」には注意しましょう。こまめに換気を行い、車内が暖まったらエンジンを切るようにしましょう。

🚗 事故や立ち往生に備えて

車に置いておく
と安心

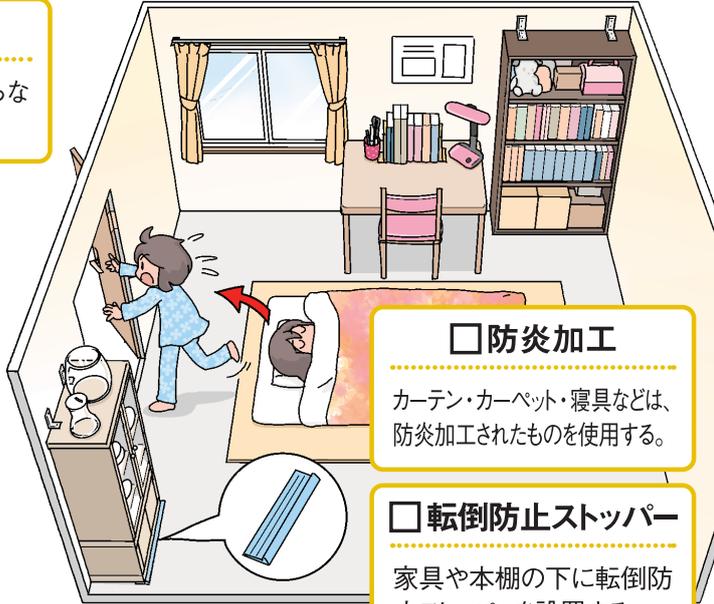
ガソリンをこまめに給油し、満タンにしましょう!

地震災害に備える① 地震発生前



地震時のケガの原因は家具などの転倒によるものが多く、室内の散乱は逃げ遅れの原因にもつながります。日頃から自宅の安全対策について点検しておきましょう。

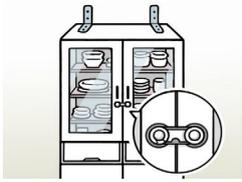
わが家の減災への取り組み



□家具の配置

出入口や就寝位置と重ならないように家具を配置する。

□扉ストッパー



家具の上に壊れやすい物を置かない。扉にはストッパーをつけ、ガラスが使われている場合は飛散防止フィルムを貼る。

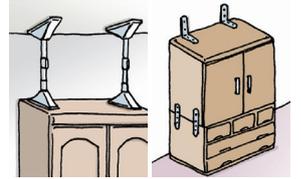
□防災加工

カーテン・カーペット・寝具などは、防災加工されたものを使用する。

□転倒防止ストッパー

家具や本棚の下に転倒防止ストッパーを設置する。

□支え棒・L型金具



背の高い家具や本棚は、支え棒やL型金具などで固定する。重い物を下に、軽い物を上に収納し、重心を下げると効果的です。

□感震ブレーカーの設置



地震火災の約6割は電気が原因!



電気火災防止には、地震を感知するとブレーカーを落として電気を止める感震ブレーカーが効果的です。

□テレビ・パソコン



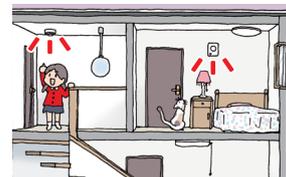
できるだけ低い位置に置き、耐震粘着マットなどで固定する。

□窓ガラス



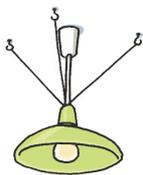
飛散防止フィルムを貼る。カーテンも飛散防止対策になる。

□火災警報器



すべての住宅の寝室と、寝室がある階の階段上部に設置し、定期的な点検を実施する。

□照明器具



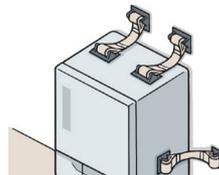
1本コードのみで吊られているものは、チェーンやワイヤーで補強する。

□暖房機器



周囲に燃えやすい物や、スプレー缶を置かない。

□冷蔵庫



ベルト式ストッパーで冷蔵庫の天板、または側板と壁を固定する。

□玄関まわり



植木鉢や自転車は避難の妨げにならないように置く。古紙類は外には置かない。



耐震診断 住まいの安全性を知る

地震の発生が少ない旭川市ですが、大きな地震が発生しないとは限りません。まず、「旭川市地震防災マップ」で地震による危険度を確認し、地震への備えとして、住宅や建築物の耐震診断と改修を行いましょう。旭川市では住宅の耐震診断等に対する補助制度もおこなっています。

旭川市
住宅・建築物の
耐震について



旭川市耐震改修
促進計画等について
(旭川市地震防災マップ)





地震発生時の避難行動



まずはとにかく「身を守る」!!

大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、まずは自分の身を守り、周囲の状況に応じて揺れがおさまるまで待ちましょう。



地震発生から
1分

屋内では

- ▶ 家具・ガラスから離れる。
- ▶ 頭を守る。



!
あわてて外に飛び出すのは危険です

外出先では

- ▶ 倒壊物・落下物に注意。
- ▶ 係員の指示に従う。
- ▶ エレベーター内にいる場合は、全てのボタンを押して停止した階で降りる。



自動車の運転中は

- ▶ ハザードランプを点灯し、徐々に減速し左側に停車する。



鉄道・バスに乗車中は

- ▶ 手すりやつり革につかまる。

地震発生から
1分〜5分

「揺れ」がおさまったら...

揺れがおさまったら、慌てずに落ち着いて行動しましょう。身のまわりの安全確保と状況確認を行い、家屋倒壊などの危険がある場合は、速やかに避難しましょう。避難の際には、通電火災を防ぐため、ブレーカーを落としておきましょう。



危険と判断したら

!
急いで避難



火元の点検

コンロやガス器具、ストーブ、タバコなどの火元を確認し火災を防ぐ。

出口の確保

建物の傾きで扉が開かなくなるのを防ぐため扉や窓を開ける。

状況の確認

ガラス片や転倒家具に注意し、家族や周囲の安全確認・確保を行う。

情報を入手する

テレビ・ラジオなどで正しい災害情報を入手する。

地震発生から
5分〜数時間

「地域で協力」しよう!!

隣近所も同じように被災しています。余震に警戒しながら安否確認を行い、被害が出ている場合は、お互いに協力しましょう。

- ▶ 危険な箇所には近づかない
- ▶ 行方不明者の確認
- ▶ けが人の救出・救護
- ▶ 手助けが必要な方への協力 (高齢者・障がい者・病人・妊婦など)
- ▶ 火災発生時の初期消火



火災が発生した場合

「初期消火」!!

早く知らせる

火災を発見したら、大声や大きな音を立て、周囲に知らせましょう。



早く消火する

水や消火器を使って、消火にあたりましょう。初期消火には消火器が最も効果的です。



早く逃げる

火が天井に燃え移ったら自力消火の限界です。速やかに避難しましょう!





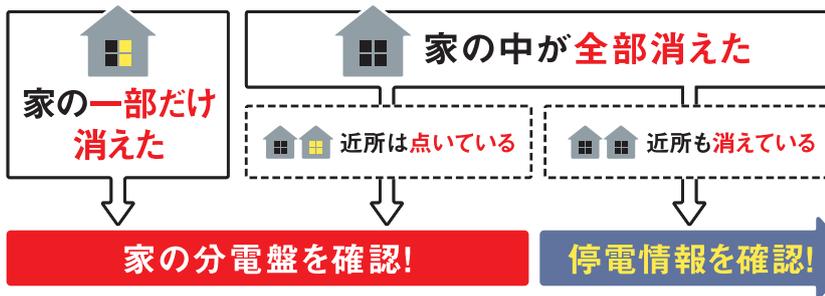
停電は、地震のほか、暴風(雪)、落雷、竜巻、大雪など自然災害や様々な原因により、一年中発生する可能性があります。停電になった場合は、あわてずに以下の対応を心がけましょう。また、長時間にわたることもありますので、停電への備えも行いましょう。

停電になったらすること

「停電かな?」と思ったら、まずは落ち着いて状況を確認しましょう。



停電発生! まず停電の状態を確認!



ラジオやスマートフォンなどから
停電情報を確認!

ほくでんネットワーク

停電情報(上川管内)



LINE停電情報
メッセージ配信サービス



停電したときにやるべき2つのこと

① 電化製品のコンセントを抜く

電化製品のコンセントを抜いておきましょう。電気が復旧した際に電気ストーブやアイロンなどの熱を持つ器具が倒れていると、燃え出して、火災の原因になることを防ぐためです。



② 避難の前にブレーカーを落とす

避難のため自宅を留守にする場合は、左の①と同じように、通電火災を防ぐため、ブレーカーも落としておきましょう。不要な照明の点灯を防止することにもなります。



停電への備え

私たちは日常において大きく電気に依存しています。その電気が使えないことは、想像以上に不便な生活をする事になります。そのためにも、季節などの状況も考慮した停電への備えをしましょう。

時季	対策内容	準備しておくもの
通年	照明対策	懐中電灯、ランタン、ヘッドライト
	情報収集・連絡手段の確保	ラジオ、予備の電池 携帯電話のモバイルバッテリー
	調理器具の確保	カセットコンロ
	自動車での対策	給電機能のある電気自動車やハイブリッド車
	予備電源の確保	発電機とその燃料、ポータブル電源、家庭用蓄電池
冬	防寒対策	ポータブル石油ストーブ、カセットガスストーブ 手袋、防寒着、毛布、使い捨てカイロ
夏	暑さ対策	保冷剤、電池式の小型扇風機、 冷蔵食品用の保冷クーラーボックス

